

J A松任青年部 YOUTH SITE



「一年間、ありがとうございました」

J A松任青年部 委員長 藤原 陽平

組合員の皆さまにおかれましては、平素よりJ A松任青年部に格別なるご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、2019年から出口の見えないコロナ禍において、様々なイベントや行動が制限され、生活スタイルもかなりの変化を求められました。私達も例外ではなく、活動が大きく制限される中、自由に活動ができないことへの葛藤を抱えながら、新しい事業への取り組みを行ってきました。

これまでもWithコロナの生活様式を模索しながら、なかなか前に進めない状況でしたが、昨年の5月より、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、5類に移行しました。まさにWithコロナ元年の幕開け！と意気込んだ我々J A松任青年部も、活動自粛等により冷え込んでいた活気を取り戻すべく、出来る事を考え実行してまいりました。

私は、先輩方がこれまで育んできた「農と人」「人と人」との繋がりを更に拡大し深堀していくことを目指し、参加者と開催者が共に楽しめる新たなイベントの開催に取り組んでまいりました。我々の活動を通じ、盟友・地域社会との交流を深め、近年減少傾



向にあった盟友数の増加を図るとともに、地域活性化の一助となるべく、盟友ICHIGANとなり新たな挑戦に取り組みました。その意欲を令和6年度の新体制へと繋げ、J A松任青年部のさらなる発展に尽力していきますので、引き続き力強いご支援ご協力をよろしくお願い致します。

「リーダー研修会を開催しました」

（本部・企画部会）

12月2日（土）、松南倉庫会議室にて、J A松任青年部リーダー研修会を開催し、令和5年度の活動の振り返りと、ポリシーブックの改定を行いました。

研修会では、今年一年の活動について、写真を見ながら振り返り、「こんなことあったな」「次回はこんな風にしたら良くなるのではないか？」「今年の反省を踏まえ、来年はこうしよう。」といった前向きな話し合いが行われ、来年度の活動に向けた改善策が打ち出されました。

また、J A松任青年部の活動方針を定めた、ポリシーブックの見直しが行われ、「盟友個人・青年部として取り組むこと」「J A松任に要望すること」「自治体に求めていくこと」に関して改定を行いました。

令和6年度に向けて早くも動き出した、J A松任青年部本部の活動に、今後もご期待ください。



【柏野文化フェスティバルに参加しました】

（西南支部柏野地区）

柏野地区では10月30日（月）～11月5日（日）の期間に「相野文化フェスティバル」が開催されました。

この1週間は日替りのイベントが企画されたり、期間中に公民館で昼食をとったり、お弁当を注文して家族で食べたりと様々な楽しみ方ができる期間になっています。

イベントについては30日に「クラフトパック作り体験」、1日に「布ぞうり作り」、3日に「ニガオエライブ」、4日に「ボトルツリーアレンジ」、5日に「SDGsシルク石鹸作り」が行われ、参加した方には各々に作品製作を楽しんでいました。

また、昼食についてはカレーやうどん、イタリアン弁当の他、キンパ巻とヤンニョムチキンの入った、満腹弁当等が販売されていました。私は満腹弁当を食べてみましたがとてもおいしかったです。

青年部は参加できる人員が片付け作業を行いました。来年は時間が合えばもう少し参加してみたいと考えています。



【笠間文化祭で出店を行いました】

（西南支部笠間地区）

10月15日（日）、笠間公民館で笠間文化祭が開催され、私達笠間青年部も参加して焼きそばとフランクフルトを販売しました。

笠間まつりと同じく四年振りの開催でさらに当日の天気も不安定だったので、来てくれる人達がどの程度いるのが見通しが立たない状態でした。しかし、いざ始まってみるとたくさんの方が青年部のテントに来て焼きそばとフランクフルトを買って行ってくれました。その甲斐もあり、正午になる頃には用意した焼きそばとフランクフルトを完売する事が出来ました。

たくさんの人達に喜んで貰い、笠間青年部の存在感を示しているようにこれからも続けていきたいと思っています。

